

企画展

国土を測り 大地を監視する



REGMOSによる火山活動の監視



変動量 (水平方向)



等変動量線図 (上下)

電子基準点の連続観測がとらえた東日本大震災による地殻変動



レーザー測距儀



GPSを用いた離島の測量



デジタルレベルを用いた水準測量



25mインバール基線尺による基線測量



一等経緯儀による三角測量



南海震災水平変動図



一等水準儀による水準測量



南海震災地区高低変動図 付図14

1946年南海震災地区高低変動図

2012.10.2 (火) ~ 11.4 (日)

<開館時間・休館日>

開館時間 9:30 ~ 16:30

開催期間中の休館日 10/9・15・22・27・28・29

お問い合わせ：電話 029-864-1872

<http://www.gsi.go.jp>

<会場>

地図と測量の科学館

(つくば市北郷1番 国土地理院構内)

国土交通省国土地理院

入場無料

国土を測り大地を監視する

のご案内

地図と測量の科学館では、10月2日(火)から企画展「国土を測り大地を監視する」を開催します。

明治から始まった我が国の近代測量の目的の1つは、全国を“統一された精度(縮尺)”の地図で整備することにあります。水平位置は、基線・一等三角の骨格測量から三等三角の細部測量まで国土を精密な測地測量で覆いました。また、標高は一等・二等水準測量や三等三角測量で決定しました。この過程で、測地測量が地震などに伴う地殻変動量を把握できることが示され、以後、測地測量は、地震国である我が国の「大地の監視」の役割を担うことにもなりました。

測量に使用された測量機器は、技術の進歩とともに最新のものが導入されてきました。ここでは、これらのうちいくつかの代表的な測量機器とその利用例などを紹介します。

主な展示内容(展示内容は一部変更になる場合があります)

- I 基線尺と経緯儀の時代
基線標石、5mギョーム式基線尺、一～三等経緯儀、南海震災の地殻変動等
- II 光波測距儀の時代
テルロメーター、ジオジメーター8型、HP3800B、
- III 宇宙技術の時代
GPS測量機、電子基準点、東北地方太平洋沖地震の地殻変動等
- IV 最新の測量機器
GNSS火山変動リモート観測装置(REGMOS)、レーザースキャナー等

開催予定期間は10/2～11/4(ただし10/9・15・22・29は休館日です。また、10/27・28は、停電のためお休みさせていただきます)。